



1万メートルを力走

新谷仁美選手

Niiya Hitomi

写真提供：共同通信社

新谷選手は山手小学校・総社東中学校出身。2014年に一度は引退したものの、2018年に現役復帰しました。

東京2020オリンピックでは、陸上女子1万メートルに日本代表として出場。スタート直後は先頭集団を引っ張りましたが、徐々に順位を落とし、21位でゴール。諦めず最後まで走り抜きました。レース後のインタビューで新谷選手は、「何度も逃げたいと思ったが、その度に前を向かせてくれる人たちがいたので走り切れました」と感謝の言葉を述べました。



“祝”金メダル獲得!

原田のどか選手

Harada Nodoka

写真提供：共同通信社

総社北小学校・総社東中学校出身の原田選手。女子ソフトボール日本代表として東京2020オリンピックに出場しました。

日本が戦った6試合全てに出場。誰よりもチームメイトにエールを送るムードメーカーであり、プレーと声援でチームを支えました。決勝のアメリカ戦では、センター前ヒットを打ち勝利に貢献。日本が13年ぶりとなる金メダルを獲得すると、チームメイトと喜び合う原田選手の姿が見られました。



ホストタウンとして

ギニアビサウ共和国の選手を歓迎

市は、東京2020オリンピックに出場するギニアビサウ共和国のホストタウンとして、7月17日から20日までの期間、事前キャンプを行う同国の選手を受け入れました。

7月19日、市武道館で柔道女子52kg級に出場のタシアナ・リマ・セザール選手の歓迎式を開催。公開練習も行われ、見学した市民らはオリンピック選手の迫力ある動きに目を奪われていました。



歓迎の花束を手に記念撮影を行うセザール選手（写真右から3人目）ら

TOKYO 2020

—東京2020オリンピック—
夢の舞台で総社市出身選手が活躍

7月23日から8月8日まで開催された東京2020オリンピック。総社市出身の原田のどか選手や新谷仁美選手の活躍は、私たちに感動を与えてくれました。
問い合わせ スポーツ振興課（☎8367）

新型コロナウイルス 関連情報



問い合わせ 新型コロナウイルス感染症対策室（☎8356）

市民会館での集団接種の様子。ステージで接種を行い、座席で経過観察をする



接種前、丁寧に問診を行う医師



通訳が一人ひとりに対応した



接種を受ける来場者

1日最大2000人程度 大規模接種実施中

7月15日から、市民会館を大規模接種会場として、1日最大2000人程度にワクチン接種を実施中。個人の接種に加え、市内事業所ごとの集団接種も行っています。
医療機関での個別接種も合わせ、希望者の早期接種完了に向け取り組んでいます。

大規模接種会場で 外国人市民を重点支援

7月25日には、大規模接種会場に外国人市民専用レーンを設け、7カ国22人の通訳を配置。この日接種を受けた約400人の対応を行いました。8月11日現在、外国人市民は1726人で、既に1000人以上が大規模接種会場で接種を受けています。

特別会場や医療機関で

12〜15歳も接種開始

8月7日・8日には、市保健センターで12歳から18歳未満の市民を対象に、ファイザー社のワクチン接種を実施。2日間で約180人が来場しました。
今後、対象者それぞれの希望時期に接種できるように、体制を整備していきます。